

令和4年度 柏市立土小学校 4年生 総合的な学習の時間 プランシート 作成者: 高根・長谷川

単元設定の理由・背景

土地域の特性である坂道が多いことや、見通しが悪い道などで交通事故を防ぎたい。(地域の特色)
 児童の実態としては、自転車に乗る際にヘルメットをかぶっていなかったり、乗車前の点検や乗り方が悪いことをなくしていきたい。(児童の実態)
 子どもたちの安全に対する意識を向上させたい。(育てたい資質・能力、教師の願い)
 今年度学習する内容と関連付け、自分たちの身の回りの安全について理解を深め、安全に過ごせるようにしたい。(教材の特性)
 国語科のリーフレットづくりを通して学んだ力を、安全に関するポスターやリーフレットの生かしたい。(各教科の関連)
 児童の実態 育てたい資質・能力 教材の特性 教師の願い 地域の特色 地域の要請 各教科の関連など

単元名

単元目標・つきたい力

Save Mylife Goals(SMGs)
 ～土地域の安全を守るにはどうしたらよいか～

学区探検を通して、土地域の危険個所やどのような危険がひそんでいるか発見する。
 3学年以下への安全見守りを通して、安全に対する意識を高める。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	①地域には坂道や見通しの悪い道があることに気付くことができる。(概念形成:地域生) ②フィールドワークを通して見つけた地域の危険を地図にまとめることができる。(技能) ③地域の安全に対する自己の認識の高まりは、警察署や市役所地域と連携し探求的に学習してきたことの成果であることに気づく。(探究的な学習の良さの理解)	①地域の安全に目を向け、その解決方法を考え、見通しをもって計画する。 ②課題解決に必要な情報を得るために、多様な方法から目的に応じて手段を選択して情報を収集する。 ③収集した情報や事実関連付けて、整理分析する。 ④自分の提案を伝えるために、目的と根拠を工夫してわかりやすく表現する。	①課題解決を通して、自分の気づきや他者の気づきを知り、尊重しようとする。(自己理解・他者理解) ②課題解決に向けて、自らが考える最善の方法を検討して、協力して取り組もうとする。(主体性・協調性) ③実社会や実生活の問題の解決に、自分のこととして捉え、進んで取り組もうとする。(将来展望・社会参画)

時	活動内容	学習のポイント 学習財・在・材(地域人材含む) カリマネ
4	・自分の自宅、通学路の危険個所について話し合う。 ・ストリートビューを使って、車目線を疑似体験する。 ・SMGsのGoalsについて話し合う。	・身近な危険個所について考えようとする。 ・車目線を疑似体験し、車側から見た危険について考えようとする。 ・土地域の安全を守るにはどうしたらよいか、様々な意見が出るようにする。
1 5	・コースごとに危険個所を見に行き、どのような危険がひそんでいるか見つける。 ・その危険個所を安全にするには、どうしたらよいか話し合う。 (例:安全に関するポスターをつくる。警察、市役所、地域へ提案。) ・ゼブラストップ調べをする。(登下校時)	・要:10月上旬にコースごとに一緒に付き添ってもらう地域人材。(6コース6日間) ※9月下旬に日程、目的などの相談会 ・実際に通学路を見て、安全について考えられるようにする。 ・それぞれが土地域の安全を守るための解決策を持てるようにする。
1 5	・解決策を実践する。 例:・3年生以下への安全見守りをする。 ・地域の掲示板、回覧板を活用して、地域住民に周知する。 ・市役所の地域課、警察、地域へ改善内容を提案する。	・見学に付き添ってもらった地域人材の人と一緒に安全見守り活動を行う。 ・掲示板や回覧板を通して、地域の住民にも安全について考える機会をつくれるようにする。 ・市役所の地域課や警察への提案を通して、自分たちの力で地域を変える力を育む。
1 0	・学習のまとめ ・授業参観で保護者参加型の安全すごろくを通して、学区の安全について伝える。 ・次年度の4年生への引継ぎなど	・学習したことをまとめ、今後の生活に生かされるようにする。 ・授業参観を通して、大人にも地域の安全を考えられるようなきっかけをつくる。 ・今年度できたところを3年生に伝え、次年度に引き継いでもらえるようにする。